

第7回 ASEAN スマートシティ・ネットワーク ハイレベル会合 概要

- (1) 日 程 令和7年11月10日～11日
 (2) 会 場 香川県高松市（かがわ国際会議場・サンポートホール高松）
 (3) 主 催 国土交通省（協力：内閣府、総務省、外務省、経済産業省、環境省）
 (4) 議 長 日 本：国土交通省 天河国土交通審議官
 ASEAN：マレーシア住宅・地方自治省 ハズリ副次官
 (5) 主な出席者：約200名（オンライン参加者含む。）

（日本側）

金子国土交通大臣、池田香川県知事、大西高松市長、井野経済産業副大臣、
 向山総務大臣政務官、森下環境大臣政務官、宇野内閣総理大臣補佐官、
 村田国際連合地域開発センター（UNCRD）所長、石田筑波大学名誉教授、
 日本企業・関係団体等

約150名

（ASEAN側）

ASEAN スマートシティ・ネットワーク加盟9カ国、ASEAN 事務局（カオ事務総長）

約50名

（6） 会議概要：

○ オープニング・セレモニー

オープニング・セレモニーとして、金子国土交通大臣、カオ ASEAN 事務総長、池田香川県知事、大西高松市長、井野経済産業副大臣、向山総務大臣政務官、森下環境大臣政務官より挨拶がなされました。



金子国土交通大臣 主催者挨拶
 （ビデオ挨拶）



カオ ASEAN 事務総長
 （ビデオ挨拶）



池田香川県知事 挨拶



大西高松市長 挨拶



井野経済産業副大臣
 （ビデオ挨拶）



向山総務大臣政務官
 （ビデオ挨拶）



森下環境大臣政務官
(ビデオ挨拶)



フォトセッション

○ 共同議長挨拶

共同議長である天河国土交通審議官及びハズリ副次官より、同会合の開会挨拶が行われました。



国土交通省
天河国土交通審議官 挨拶



マレーシア住宅・地方自治省
ハズリ副次官 挨拶

○ 基調講演

宇野内閣総理大臣補佐官より「スマートシティ分野における「インクルーシビティ」について」、村田国際連合地域開発センター（UNCRD）所長からは「国連報告書から見る ASEAN におけるインクルーシビティ」と題した講演をいただき、スマートシティの実現に向けた現状と今後の方向性が共有されました。また、川村海外プロジェクト審議官より、Smart JAMP の成果共有の発表がありました。



宇野内閣総理大臣補佐官 発表



国際連合地域開発センター（UNCRD）
村田所長 発表



国土交通省
川村海外プロジェクト審議官 発表

○ 第1部「ASEAN における取組の共有」

第1部は「ASEAN における取組の共有」をテーマに ASEAN 全体及び各国各都市で進められているスマートシティの取組について、ASEAN 事務局及び ASCN 参加者より各国・各都市の取組について発表が行われました。インクルーシビティの実装に向けて、アクションプランへの反映や気候変動対策など、スマートシティ技術を積極的に活用し様々な都市課題解

決に役立てていくことが述べられました。登壇者は次のとおりです（登壇順）。

ASEAN 事務局（リム局長）、マレーシア住宅・地方自治省（イスメル上席首席補佐官）、インドネシア内務省（サフリザル地方行政局長）、カンボジア土地管理・都市計画・建設省（ペン・ソパル国務長官）、ベトナム建設省（チャン局長）、フィリピン地方自治省（ジェシ次官補）、タイ デジタル経済振興機構（DEPA）（スパコーン副社長）



リム ASEAN 事務局局長 発表



マレーシア住宅・地方自治省
イスメル上席首席補佐官発表



ベトナム都市開発省
チャン局長発表

○ 第2部「インクルーシビティの観点を踏まえたスマートシティ実現に向けた議論」

第2部は「インクルーシビティの観点を踏まえたスマートシティ実現に向けた議論」をテーマに、防災分野や人間中心をテーマとしたセッションが行われました。

『防災×インクルーシビティ』のセッションでは、OECD-DEV の佐谷次長から ASEAN 各国における早期警報の現状や課題についての分析、東北大学の小野特任教授からは防災概念の国際規格の活用について発表いただきました。



OECD 開発センター
佐谷次長 発表



東北大学
小野特任教授 発表

また、『人間中心×インクルーシビティ』をテーマとしたパネルディスカッションでは、筑波大学 石田名誉教授がモデレーターを行い、香川大学 米谷教授、滋賀県総合企画部大学連携推進室 澤田氏、株式会社日水コン 戸部戦略担当部長、マレーシア（セバランペライ市）モハマド・ライスル氏、カンボジア（プノンペン都）サンポール氏に登壇いただき、活発な議論がなされました。



石田名誉教授 進行



パネルディスカッション様子 1



パネルディスカッション様子 2

○ クロージングセレモニー

クロージングセレモニーとして、スマートシティ関連の報告書の手交式及び MOC 紹介・交換式が行われ、天河国土交通審議官より、会議の総括がされました。スマートシティを実現していく上での重要なポイントに関する認識の共有や、日本と ASEAN 各国、そして産官学での協力関係を強化できたことに対し、参加者への謝意を示しました。

また、本会合の成果文書の確認をはじめ、マレーシア住宅・地方自治省 ハズリ副次官から成果文書が発表されました。（別紙 2 参照）

最後に、天河国土交通審議官より閉会の挨拶として、会合へ参加いただいた方々への謝意や、本会合を通じ「インクルーシビティ」の観点からスマートシティの実装に向けて必要な視点を共有できたこと、そして、日本と ASEAN 各国とのさらなる協力及び連携への期待が述べられました。



MOC 締結式



マレーシア住宅・地方自治省
ハズリ副次官 成果文書発表

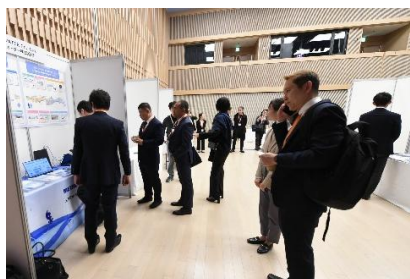


天河国土交通審議官 閉会挨拶

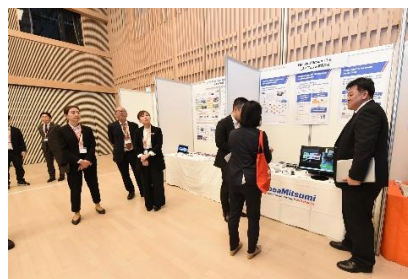
○ ビジネスマッチング

「日ASEANスマートシティ・ネットワーク官民協議会（JASCA）」会員企業が自社のプレゼンテーション及びブース出展を行い、ASEAN各国・各都市へのPR及び意見交換を実施しました。出展者は以下のとおりです（順不同）。

メタウォーター株式会社、株式会社クボタ、株式会社日水コン、scheme verge株式会社、株式会社Geolonia（ジオテクノロジー株式会社）、八千代エンジニアリング株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、UR都市機構、ミネベアミツミ株式会社、WILLER株式会社、大豊産業株式会社、株式会社XEN GROUP、株式会社SAKIGAKE JAPAN、北九州市環境局環境国際戦略課、OECD開発センター



企業ブース①



企業ブース②



企業プレゼンテーション